

2009.2

発行 山形県立小国高等学校 Vol. 49

小国高校 ジャーナル

www.ygt-oguni-h.ed.jp

スキー授業が始まりました



今シーズンも町のご協力を頂きながら1・2学年のスキー授業が始まりました。2年生の横根スキー場での授業を皮切りに各5回実施され、最終回には米沢スキー場での1日スキーが予定されています。また3年生は蔵王スキー場にて1泊でのスキー教室が開かれます。



本年度も多くの方に外部講師のご協力を頂きました。
心より厚く御礼を申し上げます。



進路体験発表会

1月16日(金)

進路内に関しての様々な悩みや勉強方法など3年生の体験を1・2年生が今後の学校生活や自己進路決定に活かす事を目的とした進路体験発表会が開かれました。「応募先・出願先を決めるまでの流れ」や「受験に向けて大変だった事や頑張ったこと」など進路実現を目指すための先輩からの良きアドバイスに1・2年生は皆、真剣な面持ちで耳を傾けていました。是非、先輩に続き今後の生活に反映してほしいと思います。



1・2月の各種検定

全商情報処理検定 1月18日(日)

表計算ソフトやデータベースソフトに関する知識や技術を学習する事で、情報の活用能力を実践的に身につける、ビジネスにおいて重要な能力を養う事のできる資格試験です。

全商簿記検定 1月25日(日)

帳簿に記録・計算・整理する簿記には、処理上の約束があり、これらの約束事を理解することは、就職や進学に大変有利で、おおいに役立つ資格といえます。

STEP 英語検定一次 1月25日(日)

質の高さは入試や海外留学、企業など社会で広く認められています。実社会で役立つ、「世界レベルの英語力」を測る資格試験とされています。

漢字検定 2月 1日(日)

企業の中には、漢検合格のための特訓講座を設けるところもあり、更には大学・短大の漢検合格者に対する入試優遇校の増加や、大学・高等学校での単位認定校の増加により、漢検の重要性が認められています。



第4回 地域の伝承文化に学ぶコンテスト (國學院大學・高校生新聞社 主催)

研究レポート部門 団体の部 佳作

【市野々・下叶水の民俗文化について】

※ 受賞レポートは本校ホームページでご覧いただけます。

第4回「地域の伝承文化に学ぶコンテスト」(主催 國學院大學・高校生新聞社) 研究レポート部門(団体)において「市野々・下叶水の民俗文化について」と題して、取り組みをまとめた班のレポートが佳作に選ばれました。そして、その表彰式が12月14日 國學院大學・若木タワーで行われ、班長の 佐藤あかり 齋藤 陽 が出席してきました。

年中行事班



佐藤あかり
(1-1)



徳岳 梨沙
(1-1)



渡部 美佳
(1-2)



安部 暁彦
(1-1)

伝承工芸班



齋藤 陽
(1-1)



安部 成美
(1-1)



渡部 拓也
(1-2)



國學院大學 渋谷キャンパス
若木タワー

表彰式では、全国から受賞者が一堂に会し、國學院大學 安蘇谷正彦 学長より一人ひとり賞状とレリーフを贈呈して頂きました。あいさつの中で、伝承文化とは地域に根付き空気のような存在であるが為に客観的に見るのが難しい事を教えていただき、各地域が持つ荒削りな素材を時間をかけて丁寧に磨きをかけてほしい。とお話がありました。レポートの講評では審査員の常光 徹先生(国立歴史民族博物館教授)から「構成・内容のまとまりが大変良く、作業工程をDVDに記録したアイデア。又、自分達で作製した(わらじやじんべ)を実際に履き峠を歩き、身をもって体感した」ことに対して高く評価をしていただきました。

國學院大學 120 周年記念事業の中心として、2006年に建設された若木タワー。その最上階にある有栖川宮記念ホールにて引き続き、立食形式での懇談会が行われました。全国から集まった高校生達が、取り組んだ研究の背景や苦労など紙面には表れない生の声も飛び交い学校の枠を超えて交流を深めることが出来ました。

研究レポートが佳作に選ばれました



私たちは班を代表し表彰式に参加してきました。会場となる國學院大學は東京ということもあり、楽しみでもありましたが不安もありました。それは國學院大學は、もともと国史・国文・国法を「攻究」する格式ある大学とお聞きしたからです。当日、大学構内はオープンキャンパスも行われていて賑わっていました。表彰式は約1時間半行われ、賞状を受け取る時とても緊張しましたが、同時に自分たちが受賞したんだと実感が湧いてきて嬉しくなりました。150作品以上の応募の中で優秀賞を受賞した学校は、さすがレポートの枚数が多く驚きました。たとえば絵本や紙芝居にしたりと、読む側に立った工夫もしていました。その後、場所を移動して昼食を取りながらの懇談会でした。そこは六本木ヒルズや東京タワーなどが一望できる最高のロケーションでした。

今回の表彰式を通して得たことは専門の大学の先生のお話をお聞きし伝承文化とは何かと考えさせられた事でした。今回のこの学びをこれからの学校生活に生かしていきたいと思います。

最後にこのような機会を与えて頂いた関係者の皆さん始め、研究に取り組むにあたりご協力を快く引き受けて頂いた小国町の皆さんに感謝いたします。どうもありがとうございました。

参加者感想より



ひと時の休息に、参加者たちの笑みもこぼれます。

